

安城市文化財調査報告書

| 書名 | 年度 | 内容 | 頁数 | 重量 | 厚み | 定価 | 版形 | 備考 |
|--|-------|---|------|-------|-------|--------|-----|----|
| 安城市文化財調査報告書第1集 「本證寺伽藍」 | 平成19年 | 三河三か寺の一つに数えられ、三河一向一揆の中心にもなった本證寺。その建造物総合調査の報告書で、関連史料、城郭伽藍遺構の検討及び考古学的成果もあわせて掲載。 | 231頁 | 819g | 1.4cm | 2,300円 | A4縦 | |
| 安城市文化財調査報告書第2集 「本證寺鼓楼・鐘楼保存修理報告書」 | 平成22年 | 市指定文化財「本證寺伽藍」のうち鼓楼(平成18年度)と鐘楼(平成20年度)の修理報告書。本修理により両建造物の建立年代が判明し本證寺の建造物群の整備過程が明らかとなった。 | 159頁 | 586g | 0.9cm | 1,900円 | A4縦 | |
| 安城市文化財調査報告書第3集 「本證寺庫裏・西三河真宗寺院庫裏の調査」 | 平成22年 | 西三河における真宗寺院の庫裏調査報告書。監修者である岩田敏也氏(愛知工業大学)により、本證寺庫裏は文政13年(1830)に再建されたもので、近世真宗寺院庫裏の到達点と呼ぶべき建造物であるとの評価を受けました。西三河真宗寺院庫裏研究の端緒となる一冊です。 | 175頁 | 649g | 1.0cm | 1,400円 | A4縦 | |
| 安城市文化財調査報告書第4集 「安城の農業倉庫と産業組合施設」 | 平成26年 | 「日本デンマーク」と呼ばれた安城を象徴する産業組合関連施設の調査報告書。監修者の溝口正人氏(名古屋市立大学)によって、これまで手つかずであった農業倉庫等の変遷が初めて明らかにされた。産業組合関連施設の報告書としては全国初。 | 248頁 | 1043g | 1.6cm | 1,300円 | A4縦 | |
| 安城市文化財調査報告書第5集 「雲龍山 本證寺調査報告」 | 平成26年 | 鎌倉時代に創建された浄土真宗の名刹、本證寺。この本證寺の歴史や文化財について、これまで実施してきた様々な調査の成果をまとめ、現時点での評価を総括した総合報告書。 | 134頁 | 641g | 0.9cm | 2,000円 | A4縦 | 完売 |
| 安城市文化財調査報告書第6集 「安城の寺院建築」 | 平成28年 | 市内にある70を超える仏教寺院のうち、49か寺について行った建造物や棟札など総括的調査の報告書。市内で主流を占める浄土真宗寺院の本堂建築については近世から戦後に至るまでの変遷過程を探るうえで貴重な資料を得たとともに、造営・普請に携わった大工・工匠の系譜や作風も明らかになった。市内の伝統的寺院建築報告の決定版。 | 534頁 | 1854g | 3cm | 7400円 | A4縦 | |